

～「子どもだけど大人」「大人だけど子ども」な人たちへのメッセージ～

LITTLE BIG

第44号 2010.3.31

発行:福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

kodomo@library.fks.ed.jp

<http://www.library.fks.ed.jp>

【Pieces -かけらたち-】本の中の言葉

「確かに向こうの成績のほうがよかつたし、平均学年も高いし、男の数でも負けるけど」

「ですよね」

早弥は力なくうなずく。自分たちが勝っている要素なんてどこにもない。

けれど、澤田先生は確かな光を宿したような目をして、こう言った。

「だから、相手のことは考えるな」

なぜか、その言葉がすとんと附に落ちた。

『たまごを持つように』(まはら三桃/著 講談社 2009年 p87) 913/マミ

「電車でも、外見てたね」

〈中略〉

「初めて見る景色だから」

「二度と見ないかも？」

「そんな瞬間って、たくさんあるんだよな」

『トーキョー・クロスロード』(濱野京子/[著] ポプラ社 2008年 p33) 913/ハキ

高校生にはひとりで考えひとりで行動することも大切で、いつでも、なにをするときでもだれかといっしょでないとできないというのは、とても幼くてみっともない感じがします。

『高校生活100のアドバイス』(東海林 明/著 岩波ジュニア新書 2009年 p38) 376/シ

そりや、TPOをわきまえてるから、学校って場ではそこそこうまくやろうと努力はする。だけど、自分自身で「お、今、俺って順応してるねえ」なんて感じたことは一度もないし、ぴったりはまつてると感じる場所にいた経験など生まれてこの方ない気がする。

『戸村飯店青春100連発』(瀬尾まいこ/作 理論社 2008年 p44) 913/セマ

出発【start】

春は新しい物事や人との出会いがある季節。そのせいか、私はお正月よりも春に新しい目標を立てることの方が多いのですが、みなさんはどうでしょうか？

「何かはじめてみたい！」と思ったら、まずは入門書を読んでみるのが王道ですね。

『中学生からの哲学「超」入門』(竹田青嗣/著 ちくまプリマ―新書 2009.7)

『14歳からの世界恐慌入門』(池上彰/著 2009.5 マガジンハウス)

『14歳からの社会学入門』(宮台真司/著 2008.11)

『15歳からのファイナンス理論入門』(慎泰俊/著 ダイヤモンド社 2009.4)

『高校生のための心理学入門』(岸見一郎/著 アルテ 2009.8)

『はじめての星座かんさつ』(甲谷保和/著 実業之日本社 2009.7)

など、中高生向けに書かれた入門書もたくさんあります。

また、文学全集や歴史ものを一緒に読んでみるのもいいかも。

『21世紀版 少年少女日本文学館』全20巻(講談社 2009.2~)

『絵と物語でたどる古代史』全3巻(ロイ・バレル/著 晶文社 2008.5)

『読む日本の歴史』全9巻(古川清行/著 あすなろ書房 2009.3~)

新たに1年のスタート！1年後、「成長したなあ」と思える1年間にしてください。

ナメから本を読む

このコーナーでは、テーマに合わせて本のちょっと変わった読み方をご紹介します。

テーマその④サキドリ新生活

もうすっかり春。進級・進学の季節になりました。

中学や高校というのは受験や部活動などがあり、1年ごとに環境が大きく変わる時期です。新生活に向けて、期待と不安がいっぱいだと思います。

そこで今回は、中学生や高校生が主人公の小説で、最近私が読んで面白かったものを紹介してみたいと思います。小説の中とはいえ、作者は当然現実味のある、リアルな中学生・高校生を登場させる…はずです（だからこそ登場人物に共感できるのです）。悩みや不安、楽しさなど、「あるある！」ということが小説の中には描かれています。

また、例え登場人物が現実にはあり得ない様なキャラクターでも、そこには作者や読者の理想の姿が描かれているはずです。（くどいようですが、だからこそ登場人物に共感できるのです）

小説の中で、春からの新生活の予行練習！…なんていかがでしょうか。

(児童資料チーム 小林)

★中高生が主人公の本

書名	著者名	出版社	主人公の学年
『14歳のノクターン』	さとうまきこ/作	ポプラ社	中学2年生
『ひな菊とペパーミント』	野中柊/著	講談社	中学2年生
『楽園のつくりかた』	笹生陽子/著	講談社	中学2年生
『たまごを持つように』	まはら三桃/著	講談社	中学2~3年生
『園芸少年』	魚住直子/著	講談社	高校1年生
『カチューシャ』	野中ともぞ/著	理論社	高校1年生
『トーキョー・クロスロード』	濱野京子/〔著〕	ポプラ社	高校2年生
『戸村飯店青春100連発』	瀬尾まいこ/作	理論社	高校3年生と専門学校生(すぐ辞めてしまうけど)
『檸檬のころ』	豊島ミホ/著	幻冬社	高校3年生

そして受験生の方は、大学生が主人公の話を読むと勉強にやる気が出るかも？

書名	著者名	出版社	主人公の学年
『オチケン！』	大倉 崇裕/作	理論社	大学1年生
『夏のくじら』	大崎梢/著	文藝春秋	大学1年生